

ディフェンスについて

木村仁一 2023.3.6

点が来ないからビッドが面白くない、デクレアラーになれないからカードプレイも面白くない、それはデクレアラーにお任せ、とおっしゃるあなた、前向きに考えましょう。

点持ち側の出来るかもしれないゲームやスラムを落とすのはディフェンスの力であり、また、まずいディフェンスを行うと出来なかったはずのゲームやスラムをプレゼントする結果になります。MP戦なら1トリックの差が勝ち点を左右するのです。

ブリッジでは、4人がコールで情報交換するので、自分以外の3人のコールの意味を理解することは勿論、ディフェンスでは、パートナーシップを発揮してお互いの少ない力を生かすカードプレイを心がけることです。特に、オープニングリードは重要です。

加えて、上手なデクレアラーがどんなプレイをするのか注目して見ることは、とても参考になるものです。

1. デフェンシブ・ビッド

- 1) オポネントが円滑に情報交換するのを妨害する。例；ウィーク2、キュービッド
- 2) 弱い手でも、偏った手であることをパートナーに知らせて、デストリビューションポイントで、コントラクトに持っていく。あるいはオポネントのコントラクトレベルを競り上げてダウンの可能性に持っていく。例：アンユージャル2NT、マイケルキュービッド
- 3) ダウン覚悟でサクリファイスを行い、ダウンしてもオポネントがコントラクトメイクするよりも少ない失点に抑える。(ABC 教本 12 章 TRP 参照)(一方で、ダブルを掛けられて大損しない計算も必要)
- 4) カウンティング

メンバーのビッドから夫々のハンドパタンを推定する。これが競合いのコールに繋がり、カードプレイの基本情報になる。

- ① まず、各々のスーツの枚数を想像する。4432、5332、5431等の分布パタンを暗記すること

が、デクレアラールと同様に、肝要。

- ② 同様に、各々の持ち点も想像する。

2. カードプレイ

- 1) 自分が勝てそうなカードを数える。或いはパートナーのものを。

- 2) オープニングリードは、1トリックを間違いなく左右する。

- ① 少ないアナーカードを生かすように考える。例：スーツコントラクトでは、AのアンダーリードはオポーネントのKを確実に生かす。単独Kのオープニングリードは、点持ちオポ2人、点なし味方一人で、取られてしまう確率が格段に大きい(その後、切札を刈られてしまい、ラフは期待がうすい)。

- ② 何から出すか？ コントラクトがスーツかNTかを配慮する。
トップオブシーケンスで次のカードを生かす。シングルトン・ダブルトンなら将来、負ける切札でラフ出来るか？ デクレアラール側のサイドスーツが短いと思った時には切札が有効。

- ③ 常識の4番手のカードを出すか？ パートナーが了承すれば幻惑のセカンドローか、或いはセカンドハイもある。

- ④ パートナーのオープニングリードから、そのハンドを想像する。自分の手に入った時、そのスーツを返すのは通常。

3) サインこそが、手のカードを生かす基本

- ① カモン・ノンカモンサインなど(ABC 教本 14 章参照)

- ② カウント(枚数)シグナル(同上):NTコントラクトで特に有効。自分が0点でも、パートナーへの応援射撃になる。

- 4) オポのカードに被せる:(セカンド・)サードハンドで行い、その下のカードのプロモートを考える。
また、オポのラフに負ける切札でオーバーラフのアップパーカット、パートナーの切札のプロモートを期待する。

- 5) ダミーの手を見て同格のカードが複数ある場合には下を出す。また、左にAやKがあると判断される3番手は、セカンドハイを出してみる。
- 6) リードは上から、フォローは下からでパートナーを困らせない。オポの左右どちらが強いのか配慮が必要。
- 7) ウイナーを先を取るのは安全だが、安易にとるとデクレアラーに余分のトリックを与える。
- 8) とは言え、オポの少ないスートの自分のアナーを取りそこなうことが無いよう注意する。
- 9) ダック: ダミィに走られそうなスートがある場合、特に他のエントリスーツが無い時には、ダックが肝要。そのパートナーからのエントリィが無くなる時に勝つ。
- 10) 弱い手に長いスートがある時は、そちらのエントリィカードを予め飛ばしておく。
- 11) 自分の手のハイカードが後のエントリーに必要であれば、早々に取るのを我慢する。

参考資料

「2 OVER 1 GAME FORCE」:ABC 教本

「ディフェンスの基礎」桜井恒夫、

「ディフェンスのシグナルとカードプレイ改訂版」桜井恒夫

「Killing Defence at Bridge」Hugh Kelsey (つまみ読み)